



沢田 治雄



腰原 幹雄

「環境にやさしい」は本当か？

環境配慮型社会へのCSR活動とその評価に関する研究会 RC-67

1. 代表幹事

沢田治雄（東京大学 生産技術研究所 教授）
 腰原幹雄（東京大学 生産技術研究所 准教授）
 田中伸治（東京大学 生産技術研究所 講師）
 遠藤貴宏（東京大学 生産技術研究所 助教）

連絡先

吉本英子
 Tel : 03-5452-6472
 Fax : 03-5452-6476
 e-mail : yosimoto@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

企業の社会的責任と訳されるCSR（Corporate Social Responsibility）の活動は、企業が自発的に、企業自らの永続性の実現とともに、持続可能な未来を社会とともに築いていく活動で、企業経営の根幹にかかわる姿勢の現れを示しています。会社の存在価値を問われることでもあり、様々な企業がCSR活動を展開しています。しかし、「環境にやさしい」は本当でしょうか。

ヨーロッパでは消費者に対するイメージ向上を狙い、顧客誘引力を上げようという考えによって行われる活動はCSRとして評価されていません。米国では、株主への説明責任という観点から、企業のCSRへの理解、認識は歴史的に深いのですが、企業収益・企業価値の向上を優先して、歪められてしまうこともあります。一方、日本では社会とともにどのような視点でCSRを捉え、いかに具体的に活動を展開するべきか、確立した考え方を持つ企業はまだ少ないと言えます。

本研究会では、世界的に通じるCSRの考えに立ち、特に、近年関心が高まっている地球環境問題にかかわる日本企業の国内外でのCSR活動の実態を、ライフサイクルアセスメント手法を考慮して調査、検討し、環境問題へ本当に貢献できるCSR活動の指針を示すことを目標とします。

ワーキンググループ(案)

- ・日本の自然環境に関するCSR活動
- ・都市環境に関するCSR活動
- ・開発途上国の自然環境に関するCSR活動

3. その他

期 間 : 平成21年4月～平成23年3月

年会費 : 10万円

※特別研究会は賛助員を対象にしていますので、未入会の場合は同時入会が必要です。（賛助会費一口10万円）

定 員 : 20社程度

運営方法 : 全体会議を年3回程度。WGを年4回程度開催する予定。

WGを形成して、幹事担当企業を決定する。



熱帯における大規模な植林



途上国における教育の提供



様々な熱帯材

2009.10.30